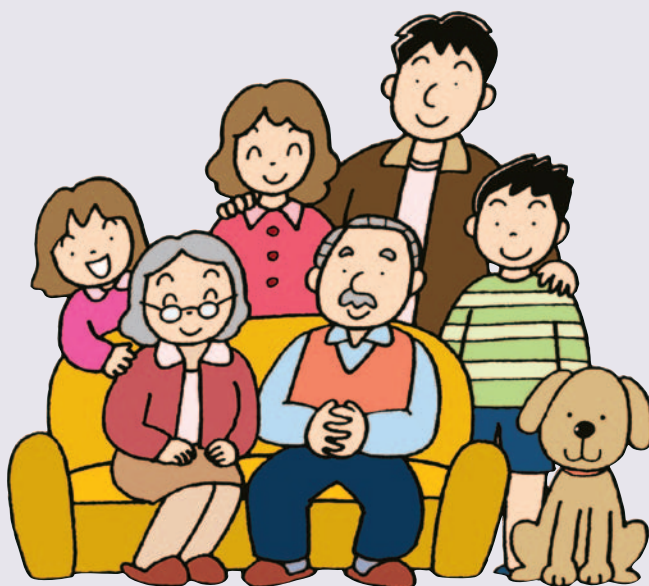


あか
明るいまちづくりをめざして

みんなで いっしょ 一緒に かんが 考えよう

だんじょきょうどうさんかくしゃかい かんが
男女共同参画社会について考える

じん けん しゅう かん がつ か がつ か
人権週間 12月4日～12月10日



45号

新 宮 市
新 宮 市 教 育 委 員 会
新 宮 市 人 権 尊 重 委 員 会

私が変われば、明日が変わる

男女共同参画社会って？

「参画」という言葉には、ただ参加するだけでなく、計画づくりや意思決定の段階から加わるという意味が込められており、男性も女性も対等な社会の一員として、ともに社会のあらゆる活動に関わっていこうとするものです。

国では、平成11年に「男女共同参画社会基本法」が制定され、男女共同参画社会推進の取り組みが進められてきました。基本法の中で、男女共同参画社会の実現は、21世紀の日本社会を決定する最重要課題として位置付けられていますが、固定的な性別役割分担意識をはじめとする意識や慣習において、いまだ課題は残されており、男女の不平等感はまだ強いのが実態です。

新宮市でも、男性も女性も、ともに認め合い、支え合い、性別に関係なく自分らしく生きられる、そんな男女共同参画社会を実現するために、平成23年3月に基本的な指針として「新宮市男女共同参画プラン」を策定しました。

新宮市男女共同参画プランって

これから新宮市が目指していくのは、「男性も女性も、ともに認め合い、支え合いながら、性別に関係なく自分らしく生きられる社会をつくること」です。

男女共同参画社会を実現するために最も基本的なことは、人権尊重の精神です。そこから男女平等や、相手を思いやる気持ちが生まれます。男性も女性も一人の個性ある人間として、認め合い、尊重し合うことが大切です。

人権尊重の精神のもと、誰もが自分の生き方を自由に選択できる社会、それが男女共同参画社会です。性別にしばられることなく、さまざまな生き方を認めようということであり、決して、仕事や家庭に専念することを否定するものではありません。そして、男性も女性も、これまで「男だから」、「女だから」と出ていきにくかった分野にどんどん出ていくことで、新しい力、考えが生まれ、みんなが生き生きと暮らせる新宮市をつくりだすことになります。

新宮市の男女共同参画社会実現のための基本理念は次のとおりです。

『男女ともに認め合い、支え合い、個性が生きるまちづくり』

「男女ともに認め合い、支え合い、個性が生きるまちづくり」を基本理念として、男女共同参画社会を実現するために、4つの基本目標を定め、取り組みを進めていきます。

1. 男女ともに認め合い、支え合う意識づくり
2. 男女ともに多様な生き方が選択できる環境づくり
3. 男女ともに安心して暮らせる地域づくり
4. 男女ともに責任を持つ体制づくり

男女共同参画社会を実現するためには、市民一人ひとりが、自らの課題であることを理解し、力を合わせて取り組んでいくことが大切です。

計画の実施にあたっては、市民、企業、行政それぞれが、同じ理念のもと、力を合わせ行動する「協働」の精神を基本とします。

合言葉は、「知ろう、考えよう、やってみよう」

■まず、「知ろう」

男女共同参画社会と聞いて、自分には関係ないって思っていないですか？

しかし、固定的な性別役割分担意識をはじめ、日々の暮らしの中に、課題はいろいろと隠されています。また、市民アンケートでは前向きな回答が見られる一方で、さまざまな言葉や男女共同参画社会の実現を支える法律、制度などを知っている人が少ないという結果も出ています。

まずは知ること、それが男女共同参画社会の実現に向けた第一歩です。

■次に、「考えよう」

次に考えてみてください。今までの自分はどうだったか、本来どうあるべきだったか。ただ知るだけでなく、考え、そして気付くことで、理解が深まります。

■最後に、「やってみよう」

最後は実行です。「自分一人の力なんか・・・」、もしかしたらそう思われるかもしれませんが、でも、みんなが同じように考え、行動すれば、男女共同参画社会は実現できるのです。

まずは、小さなことから、自分にできることから、どんなことでもかまいません、始めてみてください。小さなことの積み重ね、それが大きな結果を生み出します。
(新宮市男女共同参画プランより抜粋)

新宮市男女共同参画プランの改定に向けて

現在の新宮市男女共同参画プランは、平成 29 年度で計画期間満了となります。
今後、これまでの取り組みの成果や課題の検証、また、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（平成 27 年 9 月施行）、第 4 次男女共同参画基本計画（国、平成 27 年 12 月策定）、和歌山県男女共同参画基本計画の改定状況及び新宮市の地域課題を踏まえ、平成 29 年度にプランの改定を実施いたします。

プラン改訂を進めるにあたり、今年度、新宮市男女共同参画プラン策定委員会（各種団体の代表等 11 名）を設置し、さまざまなご意見を伺い、来年度には、市民アンケートを実施する予定となっております。

市民の皆様の、ご協力をお願いいたします。

世界経済フォーラム（WEF）は 10 月 26 日男女平等の格差を数値化して決めるジェンダーギャップ指数を発表しました。日本は世界 144 カ国中 111 位で、前年の 101 位から大きく順位を下げています。

1 位はアイスランド、次いで、フィンランド、ノルウェーと北欧諸国が上位を占め、近隣国では中国が 99 位、韓国が 116 位でした。

日本の男女平等は、まだまだ遅れているのが現状です。日常の職場において、また、家庭において、男女差による違いを感じることはないでしょうか。

性差によって得意不得意はありますが、男だから、女だからという理由だけで、可能性を狭められることがあってはなりません。そのためには、お互いに尊重し合い、思いやる気持ちが大切です。

男女共同参画社会は、男性も女性も、暮らしやすい社会です。そして、男女共同参画社会の実現は、どこかの誰かの課題ではありません。私たちみんなの課題なのです。

ひろ ころ おも
広げよう やさしい心と思いやり